

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス じょいん		
○保護者評価実施期間	2026年3月1日		2026年3月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	2026年3月1日		2026年3月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月21日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童が安心して過ごせる関係づくりと居場所支援ができている。	視覚支援や活動の流れ提示により見通しを持てる環境づくりを行っている。	学習支援や運動支援の内容を充実させ児童の成功体験につながる支援を強化する。
2	個性に応じた柔軟な支援と活動設定が行えている。	個別活動と集団活動を組み合わせ社会性向上を図っている。	活動プログラムの多様化を進め社会性や生活力向上につながる機会を増やす。
3	職員間の連携が取れており継続的な支援が実施できている。	日々の振り返りや記録共有を通じ支援内容の改善を行っている。	保護者や学校等関係機関との連携を強化し一貫した支援体制を整える。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動準備や振り返り時間の確保に課題がある。	利用児童のニーズ多様化により個別対応の負担が増えている。	支援前後の職員ミーティングや記録共有を徹底し支援の統一性向上を図る。
2	地域交流や外部活動の機会が限られている。	日々の支援業務優先で準備時間確保が難しい場合がある。	情報発信方法の見直しを行い保護者が状況を把握しやすい体制づくりを進める。
3	支援内容の見える化や情報発信に改善余地がある。	保護者ニーズ変化に対応した情報提供体制の整備が必要である。	安全管理研修や避難訓練の内容を児童参加型にし理解促進を図る。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	放課後等デイサービス じょいん				公表日	2026年3月31日			
		利用児童数		31		回収数		16	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10	4	1	1	広くて落ち着きにくい感じ/ 活動時間が短い/見学させてもらった時 に広いなと感じました。	活動内容に応じて空間を区切り視覚支援 を行い安心して集中できる環境づくりを 進める。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	5	2	0	9	代表が変わることのお手紙を以前もらいまし たが、いまいらっしゃる先生の名前や先生が何名い るか、など全然わからず、職員の方の名前がわか る案内などあればいいなあと思っております	職員体制や担当者が分かるよう掲示やお 便りで情報発信し安心して利用できる環 境を整える。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー 化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11	1	0	4	隔たりにないので集中しにくい、伝わ りにくい/よく考えられていて、すご いなど思いました。	空間の構造化や視覚支援を行い児童が見 通しを持ち集中できる環境づくりを進め る。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いま すか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いま すか。	9	1	0	6	清潔不潔が一緒になっている気がする、 別れ きてない/子供達が楽しみにして いるので、居心地がいいんだと思いま	整理整頓と衛生管理を徹底し用途に応じ た空間区分で快適な環境維持に努める。	
適切 な支 援の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支 援が受けられていると思いますか。	9	4	0	3	子供達が笑顔で帰ってくるのと、次のじょいんは いつー？と確認したり、お互いにじょいんに行く 日は、いいなー！と楽しんでます。	研修やケース共有を通じ児童理解を深め 特性に応じた支援の質向上を図る。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	13	1	0	2			
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に 分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成さ れていると思いますか。	12	2	0	2			
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの 「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支 援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適 切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いま すか。	11	3	1	1			
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10	1	0	5			
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いま すか。	9	4	1	2	季節に応じたイベントなどもあり、子 供もどの日に行きたいか真剣に悩んで います。	興味関心に応じ活動を見直し季節行事や 新しい活動導入を進める。	
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機 会がありますか。	2	1	4	9	他の学校の子と遊んだりできるのも新 鮮で楽しみたいです。	安全面に配慮し地域や他園との関わり機 会の在り方を検討していく。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につ いて丁寧な説明がありましたか。	14	0	1	1			
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされ ましたか。	13	2	1	0			
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレー ニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていま すか。	8	3	2	3	タイミング合わず参加できなくて申 し訳ないです。	参加しやすい時間設定や案内方法を工夫 し家族支援機会の充実を図る。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態 について共通理解ができていると思いますか。	8	4	2	2	連絡アプリ以外で個別で悩みや問題を解決 してくれてかわからない/相談すれば聞い て下さるのでありがたいです。	相談機会の周知を強化し保護者との共通 理解を深める取組を進める。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9	2	3	2	最近 わからない/顔を合わせた時などに 話して下さるので助かります。	面談時期の案内や声かけを行い助言機 会の確保に努める。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10	2	0	4	子供達が楽しく感じているので、そう 思います。	共感的関わりや研修や振り返りを行い安 心できる支援の継続を図る。	
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交 流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きよ うだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が 設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	1	8	6	不満はないです。	保護者交流の必要性を踏まえ無理のない 形で支援方法を検討する。		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	9	3	1	3	相談やお願い事はすぐに対応して下さいます。	相談窓口の周知方法を見直し迅速な対応体制の継続に努める。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	8	5	1	2		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	9	5	0	2	自己評価がよくわかりませんが、予定や連絡事項はアプリできますが、アプリに連絡がきている通知が出ないので、気付くのが遅くなる時があります。	通知方法や発信手段を見直し情報が確実に届くよう改善を図る。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	10	1	0	5		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	4	3	1	8		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10	1	0	5	先生方はされていると思います。子供達はわかりません。学校でも訓練はしているので、そこまでパニックになることはないと思います。	児童参加型の避難訓練等を検討し安全行動の習得につなげる。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	9	1	0	6		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	7	0	0	9		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	12	2	0	2	やり方が変わってきたと不安に思っている	支援方法変更時は丁寧に説明し安心して通所できる環境づくりを進める。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	12	4	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	13	1	1	1		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス じょいん			公表日	2026年 3月31日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	広々活動出来るスペースになっている。/活動によってスペースを仕切るなどの対応を行っている。	活動スペースの更なる有効活用に改善余地がある。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	2	利用児童が安全に過ごせる場所を提供するためにも、現場職員数はもう少し必要ではないかと思う。	急な欠員時の職員配置調整が課題である。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	落ち着いて活動する場と、運動する場を明確に分けている。	環境構造化の精度向上が必要である。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	衛生面なら配慮し、清掃、消毒を徹底している。/毎日掃除を行い、清潔な環境を整えている。	整理整頓の習慣化に継続的取組が必要である。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	場所の確保は出来ているが、落ち着けるような空間の工夫は必要。	個別スペース確保の工夫がさらに必要である。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	0	最近は特に、定期的に会議を設けるなど話し合いの機会が作れている。	支援目標共有の機会を増やす必要がある。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	今後取り組んでいきたい。	評価結果の周知方法の見直しが必要である。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	意見交換を頻繁に行なっている。/定期的な会議で話し合いの場が作られている。	会議時間確保に課題がある。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	2		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0		
適切	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	曜日による偏りなどが出ない様に工夫されている。	プログラム理解促進の工夫が必要である。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	以前は出来ていない部分もあったが、今月から各職員からの聞き取りを行ったうえで作成が行われる様に	多職種連携機会の拡充が必要である。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	上記と同様、今月から改善がされている	計画共有方法の見直しが必要である。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1	連絡帳に記入している出来事もあるが、ツールなどでの確認は出来ない。	変化把握の記録精度向上が必要である。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	してます。	支援設定の柔軟性向上が課題である。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	新年から、現場を仕切る職員が中心となって、話し合いながらプログラムの立案をする様になった。	活動立案時間確保が必要である。

は 支 援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	一部定着・固定化しているプログラム内容はあるが、季節に合ったプログラムを立案するなど利用児童が季節を感じながら楽しんで参加出来るよう工夫している。	新活動準備の時間確保が課題である。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	2	毎日ではないが、その都度チーム間で連携し日々の支援に当たっている。	打合せ時間確保の工夫が必要である。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	2	支援終了後は直帰する職員もいる為、毎日の振り返りは出来ていない。	振り返り実施頻度向上が必要である。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	保護者様との連絡帳を軸に記録を残しているが、1人1人の細かな支援の記録などは取れていない。	記録入力時間の確保が課題である。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	半年に1回行われている。	モニタリング体制の強化が必要である。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	5	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0	送迎時など短時間でも、情報共有をするようにしている。	地域連携の具体化が課題である。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	1	就学してから利用している児童については、就学前の園等との連携は取れていない	助言活用の仕組み化が必要である。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	1	今のところは対象の利用者がいない。	地域参加機会の増加が課題である。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	3	地域の児童発達支援センターとの連携はとれていないと思う。	助言機会の定期化が必要である。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	3	公園などの公共施設に行った際に、地域の子などと会う機会はあるが、施設として交流の機会を設けるなどはしていない。	交流実施方法の検討が必要である。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	2		
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	送迎時の会話や連絡帳でのやり取り、ラインを通じて共通理解を持っている。	家族支援機会の拡充が必要である。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3	性の問題などについて研修の計画がされた事はあるが、実行されずに終わった	研修会の実現に向けた具体的な計画を実施する	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0		

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	連絡帳やラインを通じて、その都度行っている	交流企画実施の検討が必要である。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	2	保護者交流の場などは作っていない	相談体制の更なる周知が必要である。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	1	その都度迅速に対応はしているが、周知はしていない。	発信頻度の見直しが必要である。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	0	連絡帳（コノベル）を通じて発信している	個人情報管理意識の継続向上が必要である。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	言葉でのやり取りが難しい子には絵カードを使うなど、視覚的に伝える工夫をしている。	地域参加の安全面検討が必要である。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	3	夏に一度夏祭りを企画した際、地域の方も来られていた	マニュアル理解促進が課題である。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	0		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	アレルギーがある子がいる日のおやつ提供時には、改めて成分表の確認を行うと共に職員間での声掛けを行っている	安全研修機会の増加が必要である。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	1	安全管理の研修・訓練はされていない	安全取組の発信強化が必要である。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1	家族周知がどの程度されているか不明。	再発防止策の共有徹底が必要である。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	ヒヤリハットはあるが、書けていないことも多い	ヒヤリハット防止意識の継続向上が必要である。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	1	虐待防止の、研修などはしていない	研修会や虐待防止理解の更なる浸透が必要である。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0			